

第四回情報 IT 活用分科会(大阪) 議事録

日時: 2009/6/26(火) 14:00~17:00

会場: 大阪丸紅ビル 13F E 共用会議室

テーマ: クラウドコンピューティングによるコスト削減と革新の両立

講師: 有限会社コザック 代表取締役社長 河端善博 様

(SQL Server ユーザーグループ PASSJ 理事/Microsoft MVP for SQL Server/INETA Japan 理事)

司会・進行: IT 活用分科会座長

ニッタ株式会社

コーポレートセンター IT グループ

船堂 晃 氏

※当分科会の運営方針により、個人/会社名を特定できる発言、および発表者から公開の許可を得られなかった内容は 議事録より削除されています。あらかじめご了承ください。

[講演へのご質問]

Q. 仮想OSのロードバランスのイメージが分かりにくい。

A. 自分用のIPアドレスはそれぞれに持っているが、NLB用に同一のアドレスを持っているので、自動的にロードバランスが取れるようになっている。

またセッションブローカーがあるので、まずはそこで振り分けるようになっている。

Q. プライベートクラウドを構成する場合、どういった規模になるのか。

A. 規模問わず、実際に動かしてみないとだめ。VMwareとセットのクラウドをベースに考えた方が良い。

価格はピンキリ。

Q. 仮想化とOSもセット、負荷も振り分ける機能がついたサーバも出てきているが、それもクラウドと呼ぶのか？

A. その一連の仕組みがユーザ側から見えないようになっていけば、クラウドと呼んでも差し支えないが、そうでないなら通常のサーバと同様である。

Q. ビジネスモデルとして、主たるターゲット層は？好きなモノを載せて良いという話だったが、ユーザ側からしたら、このデータまで任せてよいのかという部分が出てくると思うが。

A. 区切りは全くない。CRMやシェアポイントのようなファイル共有、Slerの縛りがあるのであればクラウド構成をSlerに貸し出して、提供できる。

Q. 他社とサーバ同居する場合、誤って他社のデータが引き出されてしまった場合の契約など、どうなっているのか？同居しないコース、同居するコース、などの棲み分けがあるのか？

A. メニューとしては無い。応相談である。

Q. 1台のサーバが常に正常に動くようにするのは非常に難しいと思うが、どうやっているのか

A. 1物理サーバ上の各仮想サーバはフルで40パーセントのパフォーマンスしか出ないようにして、余裕を持たせている。

Q. Hyper-Vを選択している理由は

A. たまたまWinで保障しているから。VMwareを使いたいお客様はLINUXが使いたいだけなので、個別対応。

[参加の目的&仮想化の現状など]

●内容的には難解である。

Q. 構築しているデータセンター場所や、セキュリティはどうなっているのか？他社のサーバと分けていると謳われていても、盗み見されているかどうかはユーザからは分からない。

A. データセンターは有明。セキュリティに関しては外部で監査してもらえるように進めているが、各省庁のガイドラインは現在は決まっていない。

データセンターに関しては、ISOのガイドラインに沿って監査している。

社内の個人情報保護に関する明確なガイドラインというものはあるので、それをクラウドに適用する形になる。

Q. 聞きたいのは、クラウドを社内導入するとなった場合、どうやって納得させるか。

A. サーバの専門家など第三者を雇って、監査してもらうのが良いのでは？

Q. 基本的にサーバ構築などの工数は無くして、他の業務にリソースを振り分けたい

A. そうやっていただけるように、クラウドを提供していきたい。

●IDC業者

データセンターに仮想化をどんどん取り入れてサービス提供するのはチャレンジングである。

これからどうやってクラウドを拡げていくかというのが課題。

●WEB/メールを中心としたホスティング事業をやっている。

今まではアプリケーションレイヤーでホスティングをしていたのが、OSやハードレイヤーでホスティングというフェーズに入ってきている。

デスクトップのデリバリーサービスも今後やっていきたい。

クラウドとなるとデータの信頼性などどこまで預かれるかということになるが、我々はメールのホスティングということで、非常に重要なデータになるが、他の基幹データとの重要度の棲み分けなど、他社はどう考えているか聞きたい。

→中にデータを置いているからといって安全ではない、それは外に出したら安心でもないという話と同じ。

中でも外でも、管理するのは自分の責任。

三菱東京UFJの事件で初めて個人情報漏えいで罰則が適用されたが、国の明確な指針が出ていない状態で、現状でクリティカルなアプリをクラウドで動かすのはまだ先という感じがする。

●販売会社

今までぼやっとしていたクラウドに関して、話を聞いていて分かってきた。

●クラウドでコスト削減という部分で、いかに低価格でセキュアに利用できるかという部分が重要。

●クラウドに関して、Googleは個人に絞っていると感じる。BtoBだとクラウドは10年前からASPという言葉があったし、その頃から、サーバはサーバ屋に任せて、システム管理者は本来の業務に集中するべきという話があった。

J-MOTTOという団体があるが、そこでは中小企業は自社にサーバを置くなという提言をしている。

●自社は中小企業なので、ターゲットとなる企業であることは間違いない。

トップにどう進言していくのかというのが課題になる。阪神大震災の後、初めてデータセンターに預けた。

中小企業においてはITコスト＝システム管理者の件数という考え方なので、IDCに出してどれだけのコストが削減されたかというのは、あまり重視されない。サーバ管理業務がなくなったからといって他に業務は山ほどある。

こういったことが中小企業の実態であるので、そこにクラウドを導入していくのはまだまだ厳しいと考えている。

●今日は信頼できるホスティング、信頼できるSaaSが欲しくて参加

とある運送会社が1年限定で、中国にデータを送りたいという要求があったため。

しかも1年限定なので、お金もかけたくないという要求。

クラウドは注目はしているが、相手側の顔が見えない限り、お客様に提案することはできない。

●今日の講演で川端さんが言っていたように、「何かあったら相談してください」というスタンスのサービスが立ち上がってきているのだなと実感した。